

エコアクション21

環境経営レポート

対象期間: 2024年4月～2025年3月
(本社・岸和田・鷺宮・キッズデュオ朝霞・キッズデュオ北朝霞)

- ・組織の概要
- ・対象範囲
- ・環境経営方針
- ・環境経営方針
- ・実施体制
- ・環境経営目標、環境経営目標の実績
- ・環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容
- ・環境関連法規への違反、訴訟等の有無
- ・代表者による全体評価と見直しの結果

2025年6月17日 発行

松崎商事株式会社

● 組織の概要

・事業所名及び代表者名

松崎商事株式会社
代表取締役 松崎久美子

・所在地

本社	東京都板橋区中丸町45-8
岸和田S・R事業所	大阪府岸和田市木材町10-1
鶯宮S・R事業所	埼玉県久喜市西大輪171-1
キッズデュオ朝霞	埼玉県朝霞市本町3-1-43 プラザワン3F
キッズデュオ北朝霞	埼玉県朝霞市泉水3-256-4

・環境管理責任者氏名

環境管理責任者 取締役管理部長 今野修治

・担当者連絡先

担当者 EA21事務局 坂本 隆 e-mail : sakamoto-t@matsuzaki-shouji.co.jp
TEL : 03-3974-5141
FAX : 03-3974-1566

・事業活動の内容

1. 製紙原料の販売
2. 産業廃棄物収集、運搬業
3. 産業廃棄物処理業(岸和田S・R)
4. 廃プラスチック等を利用した燃料の製造販売(岸和田S・R)
5. 貨物自動車運送事業(鶯宮S・R)
6. 再生可能エネルギーによる発電事業(鶯宮S・R)
7. 書籍の改装並びに管理及び出荷に関する事業
8. 学習教室の経営(キッズデュオ朝霞、キッズデュオ北朝霞)

・出荷実績(2024年度)

岸和田S・R事業所	: RPF	7,713t
	: 古紙	1,360t

鶯宮S・R事業所	: 古紙	9.680t
	: 発電実績	太陽光 283,070kWh/年
	: 出荷冊数	3,857,276冊

・設立年月日

昭和26年6月7日

・資本金

1,400万円

・売上高

2024年度 31億7,000万円

● 対象範囲

・登録組織名：松崎商事株式会社

・対象事業所

本社

東京都板橋区中丸町45-8

岸和田S・R事業所

大阪府岸和田市木材町10-1

鷺宮S・R事業所

埼玉県久喜市西大輪171-1

キッズデュオ朝霞

埼玉県朝霞市本町3-1-43 プラザワン3F

キッズデュオ北朝霞

埼玉県朝霞市泉水3-256-4

・事業許可の内容(産業廃棄物収集運搬業・処分業)

別表1、一覧表参照

・処分業(岸和田SR事業所)事業内容

別紙2、岸和田SR事業所許可内容詳細・工程図等参照

事業の規模・施設等の状況

(1)本社

①従業員数：24名

633. 61m²

・普通車
・中型車

6台
1台

・フォークリフト

1台

(2)岸和田S・R事業所

①従業員数：9名

②事業所延べ床面積 3,804. 72m²

③車両
・普通車
・中型車

2台
1台

・フォークリフト
・パワーショベル

9台
2台

梱包機
RPF製造機

1台
1式

(3)鷺宮S・R事業所

①従業員数：72名

②事業所延べ床面積 756. 00m²

③車両
・中型車
・大型車

4台
3台

・フォークリフト
・リーチフォーク

3台
10台

④主要設備：梱包機

1台

(4)キッズデュオ朝霞

①従業員数：15名

②事業所延べ床面積 129. 77m²

③車両
・普通車

2台

(5)キッズデュオ北朝霞

①従業員数：11名

②事業所延べ床面積 141. 10m²

③車両
・普通車

2台

(6)対象範囲外従業員数

95名

(業務請負先の環境マネジメントシステムの管理下で活動)

松崎商事株式会社 環境経営方針

環境理念

当社は、製紙原料の卸売りを前身にして、1951年(昭和26年)設立。社会で不要となった古紙や廃プラスチックに新たな用途を与え、再び社会に役立たせる事業を行っております。

また、主力事業以外でも太陽光発電事業、書籍の管理・改裝業務、教育業等の幅広い分野にて次代の環境創造にも取り組んでおります。環境保全と資源の再利用を通じて真の資源循環型社会実現のため、これからも皆様の期待と信頼に応えられるよう、努めてまいります。

行動指針

1. 省エネルギー化を進めて、二酸化炭素排出量を削減し、地球温暖化防止に寄与します。
2. 省資源で仕事を進めるよう努め、廃棄物排出量を低減します。
3. 環境配慮製品の販売促進に努めます。
4. 節水に努め、排水量を低減します。
5. グリーン購入を推進し、環境に配慮した調達を進めます。
6. 環境法令・条例等の法的 requirement 事項やその他の要求事項を遵守します。
7. 環境経営システムの定期的な見直しを行い継続的な改善に努めます。
8. この環境方針は全従業員に周知し、環境問題への意識の向上を図ります。

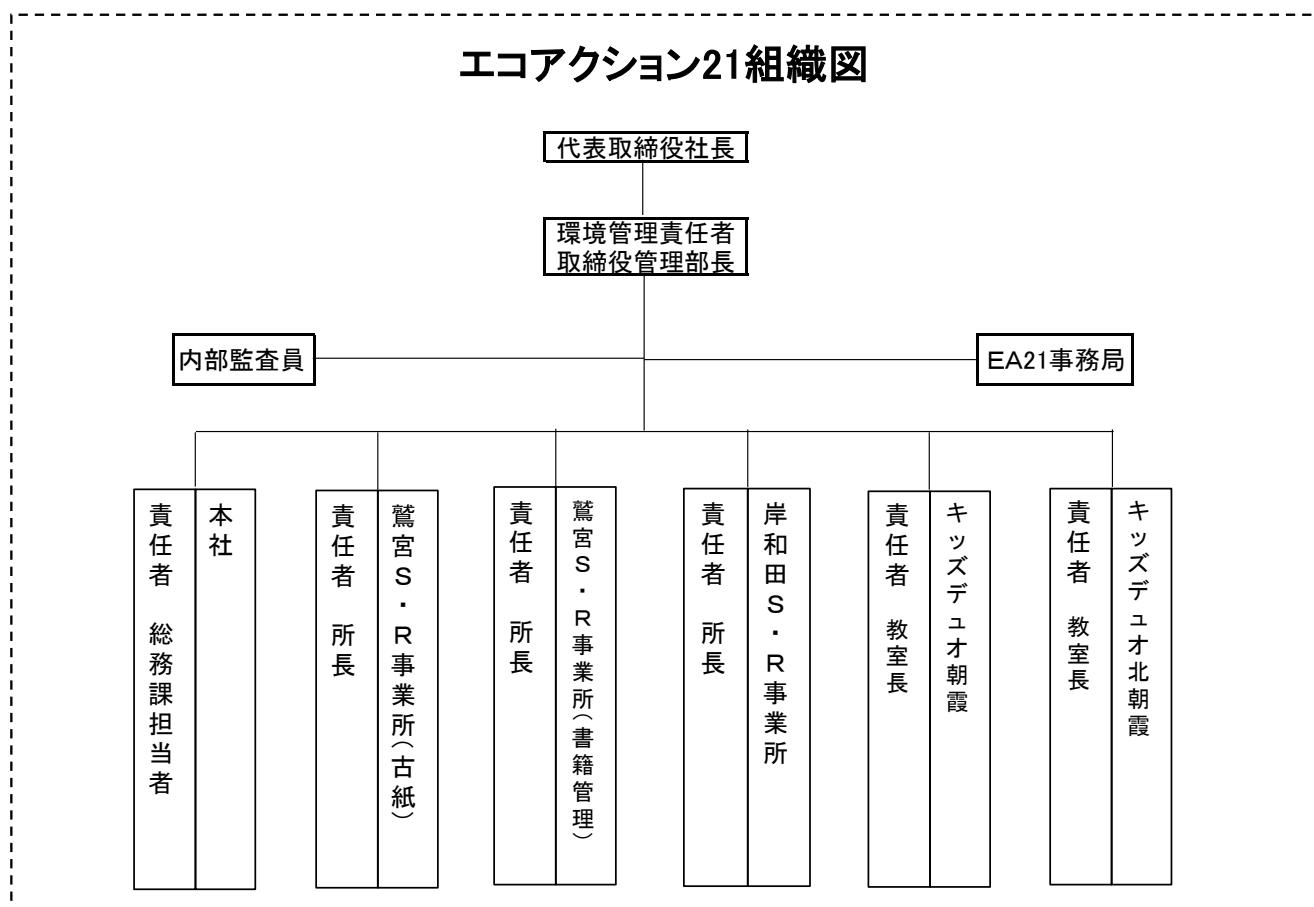
2022年4月1日 改訂

松崎商事株式会社

代表取締役社長 松崎 久美子

● 実施体制

エコアクション21組織図



役割・責任・権限	
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の策定 ・課題とチャンスの明確化 ・環境管理責任者の任命 ・内部監査員の任命 ・資源(人員、設備、費用等)の準備 ・エコアクション21全体の取組状況を評価し、全体的な見直しを実施、改善・変更等に関する必要な指示を行う
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施及び管理 ・事務局作成の文書の承認
内部監査員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの妥当性監査 ・環境経営目標達成へ向けた拠点の取り組み状況監査
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・「環境への負荷の自己チェック」及び「環境への取組の自己チェックの実施」 ・環境関連法規の取りまとめ ・環境経営目標、環境経営計画の策定 ・環境コミュニケーションの実施 ・取組状況の確認及び評価 ・環境経営レポートの作成
本社 総務課 担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・「環境への取組の自己チェックリスト」をもとに、自部門における現在の環境への取組状況を把握
鷺宮S・R事業所(古紙)責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門の従業員に対する教育・訓練の実施(環境経営方針の周知、環境経営目標や環境経営計画における自らの役割や取組についての十分な認識)
鷺宮S・R事業所(書籍管理)責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告
岸和田S・R事業所責任者	
キッズデュオ朝霞責任者	
キッズデュオ北朝霞責任者	
対象従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針を理解し、環境への取組を日常活動で実践

●環境経営目標、環境経営目標の実績(全社合計)

中期目標

	2022年度 基準年度	2024年度 削減比	2025年度 削減比	2026年度 削減比
1. 二酸化炭素排出量削減				
・電気 (kWh)	2,134,147	△1%	△2%	△3%
・軽油 (ℓ)	54,845	△1%	△2%	△3%
・ガソリン (ℓ)	6,024	△1%	△2%	△3%
・プロパンガス(kg)	7,099	△1%	△2%	△3%
・CO2合計 (kg-CO2)	1,514,172	△1%	△2%	△3%
2. 総排水量削減 (m³)	2,476	△1%	△2%	△3%
3. 一般廃棄物排出量削減 (kg)	2,800	△1%	△2%	△3%
4. 環境配慮製品 (kg)	7,987,356	0%	0%	0%

※基準年度CO₂排出係数

- ・本社、岸和田S・R事業所、鷺宮S・R事業所
エナリスパワーマーケティング 0.629kg-CO2/kWh
- ・キッズデュオ朝霞
ENEOS 0.480kg-CO2/kWh
- ・キッズデュオ北朝霞
東京電力エナジーパートナー 0.443kg-CO2/kWh(2022/4)、ENEOS 0.480kg-CO2/kWh(2022/5～2023/3)

2024年度運用結果(2024年4月～2025年3月)(全社合計)

	基準年	目標	2024年度実績	減少率	目標達成状況
1. 二酸化炭素排出量削減					
・電気 (kWh)	2,134,147	△ 1% 2,112,806	1,949,664	△9%	○
・軽油 (ℓ)	54,845	△ 1% 54,297	46,254	△16%	○
・ガソリン (ℓ)	6,024	△ 1% 5,964	3,467	△42%	○
・プロパンガス (kg)	7,099	△ 1% 7,028	6,845	△4%	○
・CO2合計 (kg-CO2)	1,514,172	△ 1% 1,499,030	1,049,010	△31%	○
2. 総排水量削減 (m³)	2,476	△ 1% 2,451	1,857	△25%	○
3. 一般廃棄物排出量削減 (kg)	2,800	△ 1% 2,772	2,303	△18%	○
4. 環境配慮製品 (kg)	7,987,356 (基準値)※2	0%	7,713,450	△3%	×

○目標達成 ×目標未達成

※2. 基準値=2022度月平均× $\frac{2022\text{年度月平均}}{2021\text{年度月平均}}$ ×12ヶ月

● 環境経営計画、環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

	主な活動計画	評価	次年度の取組内容
電力の削減	①照明は、昼休み、残業時等不必要的時は消灯する。	電力の削減は取り組み易い分野でもあり、十分浸透してきている。ただ、健康管理の問題もあるので、空調の適温化等は無理のない範囲で推進して行きたい。	継続
	②使用頻度が低い照明は、使用時ののみ点灯する。		継続
	③パソコン、コピー機等のOA機器は、省電力設定にする。		継続
	④空調の適温化(冷房26度程度、暖房21度程度)を徹底する。		継続
	⑤使用していない部屋のエアコンは停止する。		継続
	⑥長時間使用しないパソコンの電源を切る。		継続
	⑦コピー機、プリンター等は退社時に電源を切る。		継続
自動車燃料の削減	①エコドライブの実践(急発進・急加速禁止、駐停車中のエンジン停止等)	今年度は、本社社用車2台の買い替え、1台の廃車があり、燃費効率の良い車種の選択が実施された。また、岸和田ではユンボ作業に大量の軽油が使用されているが、このユンボ運転でのエコドライブを目標達成手段に加えた。以上のように積極的な試みがなされていることが評価される。	継続
	②作業時間や待機時間、走行距離の短縮化を図る。		継続
	③運搬経路を選択時に、幅員、渋滞等の道路条件を考慮する。		継続
	④購入時、燃費効率の良い車種を選ぶ。		継続
	⑤ユンボ運転において、こまめにエンジンを切り、アイドリング時間を短縮する。		継続
	⑥ユンボ運転において、荷による負荷をかけ過ぎない。		継続
	⑦暖房のみ必要なときは、エアコンスイッチをOFFにし、冷房が必要なときは、車内を冷やしすぎないように心掛ける。		継続
廃棄物の削減	①缶、ガラス等について、ごみの分別を徹底する。	ゴミの分別は、十分浸透してきている。	継続
水使用量の削減	①手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行している。	日常生活的なレベルでの節水は十分浸透してきている。	継続
	②節水こま(適量の水を流す機能を持つこま)を設置している。		継続
	③水道配管からの漏水を定期的に点検している。		継続
	④節水ステッカー掲示。		継続
	⑤給排水状態や使用量に異常があれば原因を調べ改善する。		継続
	⑥社用車の洗車での、節水の励行。		継続
	⑦社用車の洗車を必要最小限に留める。		継続
の環境販売配促進製品	①ホームページ上での販売促進活動。	RPFは当社の看板商品でもあり、十分な取組みがなされている。	継続
	②顧客の獲得。		継続
活性化保育の	①スタッフの能力向上。	退会者はごく少数で、退会理由も個人的なものであり、学童の満足度は向上しているものと思われる。	継続
	②学童の満足度の向上。		継続

● 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反・訴訟はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

適用関連法規等	実施事項	遵守状況
廃棄物処理法	委託契約書、マニフェストの適正管理 マニフェスト交付等状況年度報告 許可証の更新	○
消防法	消防設備等の点検 少量危険物貯蔵・取扱い届出 指定可燃物貯蔵取扱い基準と届出	○
フロン排出抑制法	簡易点検実施	○
東京都環境基本条例 大阪府環境基本条例 埼玉県環境基本条例	事業活動を行うにあたり、環境の保全を図り、環境への負荷の低減に努める	○

● 代表者による全体評価と見直しの結果

2024年度は基準年度を2022年度に変更、統一した。
今年度は一部、目標達成が困難となった箇所があるものの、全社的にはほとんどの分野で目標が達成されている。
中でもCO₂削減に関しては、基準年度(2022年度)比 31%の削減率となっており、エコアクション21の取り組みの中でも大きな成果を上げている。
エコアクション21の取り組みも8年目を迎える、目標達成が困難な面が頻繁に見られるようになってきているが、今後も状況に応じて改善処置を検討し取り組むようお願いしたい。